

上田市教育委員会 4 月定例会会議録

1 日 時

平成 29 年 4 月 19 日（水） 午後 3 時 05 分から午後 4 時 11 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第一会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	小 林 一 雄
教育長職務代理者	城 下 敦 子
委 員	寺 島 滋
委 員	北 沢 秀 雄
委 員	平 田 利 江 子

○ 説 明 員

中村教育次長、浪方教育参事、小野沢教育総務課長、高木学校教育課長、小林生涯学習・文化財課長、唐澤人権同和教育政策幹、池田スポーツ推進課長、久保田丸子地域教育事務所長、清水真田地域教育事務所長、清住武石地域教育事務所長、村山第一学校給食センター所長、黒岩第二学校給食センター所長、池内丸子学校給食センター所長、竜野中央公民館長、滝沢西部公民館長、滝沢城南公民館長、倉沢上野が丘公民館長、土屋塩田公民館長、大滝川西公民館長、山崎上田図書館長、飯島上田情報ライブラリー館長、腰原交流文化芸術センター副館長、滝澤上田市立美術館長、

1 あいさつ

2 〈協議事項〉

(1) 上田市スポーツ施設整備基本構想策定(案)について(スポーツ推進課)

○資料1-1・1-2により池田スポーツ推進課課長説明(要旨)

健(康)幸(福)(けんこう)都市上田を目指し、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しめる、生涯スポーツ社会の実現が求められている。また、東京オリンピックや長野国体等の開催をひかえ、大規模大会の誘致が可能な施設を視野に入れるとともに、市民が利用しやすい施設の整備を計画的に進めることが必要となることから、今後の「上田市スポーツ施設整備基本構想」を策定する。平成29年度を初年度に、平成37年度までの9年間を計画期間とし、第二次上田市総合計画、上田市スポーツ振興計画、及び、上田市公共施設マネジメント基本方針に位置付けられている。

現状として、上田市には、131のスポーツ施設(教育委員会所管分107、所管外24)が設置されているが、①施設の老朽化、②大規模施設の不足と地域ごとの施設配置バランス、③施設の利用頻度、④防災施設としての位置付け、⑤財政状況への配慮が課題となっている。

○質疑

北沢委員

資料1-2の7ページにあるスポーツ施設利用状況一覧表について。利用状況についての説明もあったが、施設の活用についての数字は、利用率の高い城跡公園体育館が89.4%、利用率の低い市民の森バンガローが16.0%、同キャンプ場が6.5%となっている。その算定の仕方は365日が分母なのか、利用可能日が分母なのか。例えば、城跡公園体育館であれば、年間だいたい何日ぐらいが利用可能なのか。特に利用率の低い市民の森バンガローやキャンプ場は、年間に利用できる日が何日ぐらいになるのか。分かる範囲で教えていただきたい。

池田スポーツ推進課課長

体育館や屋内の施設については、定休日を設けていることから、週6日間の稼働日となる。365日から50日を引いた313日ということになる。また、市民の森や屋外の施設等は、冬季雪が降った場合は閉鎖期間となる。細かな数字は手元がないので、また確認して次回に報告させていただきたい。

城下委員

利用率が低いなりの理由は。

池田スポーツ推進課課長

市民の森の各施設、キャンプ場あるいはバンガロー、ゲートボール場は、利用状況に波がある。また、時代の流れにそぐわない施設もある。地域によって、例えば武石では、ゲートボール場の利用率は38.2%ある。また、丸子ゲートボール場は0.5%という現状にある。これに基づいて集約等の検討を進めてしていくが、丸子・武石の利用率についての分析は、まだ踏み込んでいない状況である。

城下委員

ここに出ている数字だけではなく、原因やニーズも含めた分析や検討を進めていくべきではないか。

池田スポーツ推進課課長

基本構想の後に策定する整備計画については、具体的な計画となる。その時には、さまざまな団体や市民の皆様などのご意見を反映させるため、もう少し踏み込んだ形でのデータ収集などをしていきたい。ここでは、大きな方向性を示すものだとということをご理解いただきたい。

小林教育長

時代の流れもあるし、これからもスポーツを栄えさせていかななくてはならない。

城下委員

国体の開催について。平成39年開催に向けて、上田市はこれからのスケジュールにどのよう
に間に合わせていくのか。

池田スポーツ推進課課長

県の2月県議会で、県知事が招致活動を進めていくということで説明されている。決定についてはまだ段階を踏まえている状況だが、市長会や町村会からの要望、国会からの要望等、全県挙げて進めていくものと思われる。今般の施設の整備については、国体に的を絞ったものではない。施設全体をもう一度見直して、今後の人口減少を踏まえた中で維持していかれるような状態に持っていく。一方で、国体には地域の活性化という視点もある。それを含め、国体にも向けた形に持っていかればという気持ちはあるが、財政状況もあるため、必ずしも国体に向けてつくっていくというものではない。また、上田市で行う競技が何であるのかが決まっていな
いため、会場についても何を目指していくかは決まっていない。

城下委員

あと10年。まだつくってはいないけれども、会場が決定したときには、上田市としてその競技に手を上げるのか。

教育次長

一昨年の10月頃に、県に各競技団体から、どこの市町村でどのような競技ができるか調査をかけている。上田市の一部の体育協会傘下の各競技団体から要望を上げていると聞いている。ただし、後利用のことも考慮していくと、基本的に既存の施設を活用していくことが本来の主旨であると思う。今後、基本構想を踏まえた後に、基本計画の策定に当たって、施設の集約化の中で国体の開催に合わせてつくる可能性もあるが、何でも新しい施設をつくるということではなく、基本的には国体が終わった後、何に利用できるかを考え、後世に負担をかけないという考えでいきたいと思う。

寺島委員

国体に関しては、上田市で招致できる競技場を整備するというよりも、上田市民が国体へ出場し活躍するバックグラウンドとして練習できるような施設や、大きな施設をつくるよりも、市民の皆様が利用できる施設、それに向けた施設づくりということが、イメージも良いのではないかと思う。

池田スポーツ推進課課長

ご意見として承った。

小林教育長

整備方針の区分について、広域、中核、地域という3つに分けたのは分かりやすいが、それぞれの施設がどこに属するのかという細かい部分まで分類をして一覧表にしてはいいないのか。広域といったときに、広域の数をあまりたくさんにしない考え方は分かるが、そういう部分について異論はないのか。

池田スポーツ推進課課長

8ページで大まかに広域、中核、地域と分けてあるが、その中でゾーニングとしては、どこが広域施設のゾーンなのかということはまだ示していない。今後、位置付けを行なって整備をしていきたいと思う。

小林教育長

ほかに予算も絡むが、教育委員会としてはこのような方向で行きたいと思う。

○全員了承

3 報告事項

(1) 学校教育関係寄付・文化振興関係寄付の状況 (学校教育課、生涯学習・文化財課)

○資料2

小林教育長

学校関係・文化振興関係の寄付だが、資料を見ていただき、何かあったら質疑していただきたい。

(2) 出前ときめきまちな講座について (生涯学習・文化財課)

○資料3により、小林生涯学習・文化財課長説明(要旨)

この出前ときめきまちな講座は、通称「野外講座」といい、地域の学習支援、また地域の皆様のご要望により、市政についての情報提供について、職員が地域に出向いて行なう事業である。資料3により、本年度は102のプログラムを広報に掲載し、地域自治センターや公民館に配布して行っていく。

○全員了承

(3) スポーツ関係市長表敬訪問者報告 (スポーツ推進課)

○資料4により、池田スポーツ推進課長説明(要旨)

3月22(水)に、上田ソフトテニススポーツ少年団が、第28回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会、第16回全国小学生ソフトテニス大会に出場するため市長表敬訪問をされた。記念品として、スポーツドリンクを差し上げた。

○全員了承

(4) 平成29年度サントミューゼ事業計画及び主催事業の主催名義について (交流文化芸術センター)

○資料5により、腰原交流文化芸術センター副館長説明（要旨）

平成26年10月2日に開館し、平成29年度で4年度目を迎えることとなっている。事業については、開設に先立って、検討委員会で運営管理委員会に検討結果報告書を設けていただき、それを踏まえて「第二次総合計画」、また「第二次文化・芸術振興に関する基本構想」に基づき、事業の計画を進めている。事業は、サントミュージゼの基本理念である「人に優しい夢と創造と未来をつくる創造都市上田の実現」、これを念頭に事業の育成をしていきたい。事業の内容については、資料5に基づき、講演事業、人財育成事業、普及啓発事業、フェスティバ事業などを行なっている。

○全員了承

(5) 平成29年度上田市立美術館の事業について（上田市立美術館）

○資料6により、滝澤上田市立美術館館長説明（要旨）

上田市立美術館事業について、サントミュージゼ全体を含めた育成教育を理念に、児童自由画教育運動からさまざまな事業活動を展開している。美術館の特徴として、小学生、保育園児・幼稚園児を含めさまざまな文化を開催することによって、アートによる文化と育成、多様性、人と違う価値観をアートを通じて体感していただきたく、これらの諸事業を進めていきたい。

○全員了承

(6) 「ふれあい・人権のつどい2016」事業報告（丸子地域教育事務所）

○資料7より、久保田丸子地域教育事務所長説明（要旨）

「ふれあい・人権のつどい2016」は、人権週間に合わせて、人権啓発のための行事として丸子地域・武石地域合同で開催した。人権教育は、これまでも同和教育をはじめとして、地域、学校、職場の中で取り組んできているが、さまざまな差別事象は依然として発生している状況である。当事業のアンケートにより、違いを尊重し、違いに価値を見出す社会に向けてヒントになる講演であったなど、肯定的な感想・意見が多かった一方で、参加者の減少についての意見も聞かれた。本年は、例年より多くの団体への周知と広報、また、より多くの施設へのチラシ・ポスターの掲示を行なったことから、ここ数年の中では参加者が最も多かったが、会場の規模からするとまだ足りないため、更に効果的な方法による、より多くの市民の参加を考えていきたい。

○全員了承

(7) 「みんなの人権セミナー」（丸子地域教育事務所）

○資料8より、久保田丸子地域教育事務所長説明（要旨）

「みんなの人権セミナー」は、人権意識の高揚を図り、「一人ひとりの人権が尊重される明るい社会」を実現していくため、さまざまな人権問題の現状を知り、自分自身の問題として捉え、考えていくことを目的に講座を開催した。昨年のアンケート結果で要望が多かった、外国人に関する人権問題を今回取り上げたところ、好評であった。来年度も新たな人権問題や参加者の要望を踏まえた内容を取り上げ、多くの参加者到人権について考えていただきたい。

○全員了承

(8) 行事共催申請状況について（学校教育課・生涯学習 文化財課・スポーツ推進課）

○全員了承

4 その他

・竜野中央公民館長より、各公民館だより・各自治センターだより説明

○ 全委員 了承

閉会